

報道解禁時刻: 2024年5月8日 00:01 CEST

1950年代の名車から着想: アウトモビリ・ピニンファリーナが 「バッティスタ・チンクアンタチンクエ」発表

- バッティスタ・チンクアンタチンクエのボディカラーはブルー・サボイア・グロス、ルーフカラーはビアンコ・セストリエーレ・グロス、1955年に展示用として発表されたセダン「ランチア・フロリダ」をイメージ
- 「チンクアンタチンクエ」はイタリア語で「55」の意味、ピニンファリーナが手掛けた名車へのオマージュ
- エレガントなランチア・フロリダは、最速・最強のイタリア製ロードカー「バッティスタ」の名前の由来となったバッティスタ・「ピニン」・ファリーナが設計し、パーソナルカーとして愛用
- 3台しかないランチア・フロリダのうちの1台と並ぶバッティスタ・チンクアンタチンクエ
- アウトモビリ・ピニンファリーナのデザインチームが今後の全モデルの指針とするべく設計したデザインコンセプト「プーラ・ビジョン」もインスピレーションの源は1955年製ランチア・フロリダ

(2024年5月8日、カンピアーノ) アウトモビリ・ピニンファリーナ(Automobili Pininfarina)は、1955年製ランチア・フロリダへの敬意を込めた独創的なバッティスタを製作しました。ランチア・フロリダはバッティスタ・「ピニン」・ファリーナが設計し、愛用した一台でした。

1950年代初頭、バッティスタ・「ピニン」・ファリーナが手掛けたランチア・フロリダは、動く彫刻と称され、その後の自動車デザインの発展をも促すことになりました。カロッツェリア・ピニンファリーナの創業者である「ピニン」・ファリーナがパーソナルカーとして大切にしていたランチア・フロリダは、トリノのカンピアーノにあるピニンファリーナSPAコレクションとして展示されています。ハイパーGT「バッティスタ・チンクアンタチンクエ」(Battista Cinquantacinque)には、この名車へのオマージュが込められています。

チンクアンタチンクエのエクステリアは一点の曇りもないブルー・サボイア・グロスのボディにビアンコ・セストリエーレ・グロスのルーフが映え、ブラッシュドアルマイト加工を施したジュエリーパックがエレガントな雰囲気を演出します。インテリアは特注のマホガニー(ポルトローナ・フラウ社のヘリテージレザー)で包まれます。この車の優雅なカラーリングも、イタリア語で「55」を意味する「チンクアンタチンクエ」というネーミングも、カロッツェリア・ピニンファリーナの傑作である1955年製ランチア・フロリダへの敬意の表われです。

バッティスタ・チンクアンタチンクエには、この車の起源や歴史を感じることができるフレーズが随所に見られ、パッセージードアプレートとアクティブリアウイングの下側には「Cinquantacinque 55」と刻まれます。

バッティスタは電動モーター4基と120kWhのリチウムイオンバッテリーを搭載し、1,900馬力、2,340Nmを発揮します。この先進的なパワートレインが0-100km/h加速1.86秒、0-200km/h加速4.75秒というスリリングなパフォーマンスと快適な乗り心地、そして航続距離476kmを実現します。

バッティスタ・チンクアンタチンクエは、アウトモビリ・ピニンファリーナの世界展開の一環として、リテールパートナーであるスカイグループの協力の下、東京で初公開され、日本市場へのデビューを果たします。

日本の顧客は、アウトモビリ・ピニンファリーナの「Dream Cars. Made Real」をその目で確かめることができます。ひとりひとりのオーナーのために特別な顧客体験を提供すること、そして職人たちによってカンピアーノのアトリエで製作され、日本へと旅立つすべての車にオーナーの希望が反映されることを、アウトモビリ・ピニンファリーナがお約束します。

アウトモビリ・ピニンファリーナのチーフデザインオフィサー、デイブ・アマンテアは次のように述べています。「ピニンファリーナSpAが生み出した名車へのオマージュを込めてデザインするという、実に貴重な機会を与えていただきました。バットィスタ・チンクアンタチンクエの目を見張るカラーコンビネーションには、バットィスタ・"ピニン"・ファリーナが1950年代初頭にランチア・フロリダを設計したときのビジョンが反映されています。ランチア・フロリダは、アウトモビリ・ピニンファリーナの今後の方向性を示すデザインコンセプト『プーラ・ビジョン』の着想のもととなった車でもあります」

バットィスタ・チンクアンタチンクエだけでなく、アウトモビリ・ピニンファリーナの全モデルの指針となるデザインコンセプト「プーラ・ビジョン」のデザイン要素も、インスピレーションの源はランチア・フロリダでした。

1950年代に誕生したランチア・フロリダはBピラーレスで観音開きのドアを装備したセダンでした。このデザインに着想を得たのがプーラ・ビジョンのラウンジドアです。プーラ・ビジョンのラウンジドアはヒンジで跳ね上がるように開きます。ピラーレスのデザインとリアヒンジ式の後部ドアとの組み合わせによって乗り降りがしやすい広々とした2+2シーターとなっています。

アウトモビリ・ピニンファリーナは真のイタリアラグジュアリーを提供する先駆者として、ビスポークでの製作にこだわり、ひとりひとりの顧客の希望を忠実に具現化します。アウトモビリ・ピニンファリーナの職人技によって顧客の個性が見事に映し出された車は、どれも手作業から生まれた唯一無二のマスターピースです。

以上

プレス用問い合わせ先

Duncan Forrester

チーフ・コミュニケーション・オフィサー

(M) +49 (0) 171 265 4094

d.forrester@automobili-pininfarina.com

Akira Shinonuma

コミュニケーションマネージャー

(M) +49 (0) 1511 0949270

a.shinonuma@automobili-pininfarina.com

詳細については、こちらをご覧ください

automobili-pininfarina.com/media-hub

編集者注

アウトモビリ・ピニンファリーナについて

アウトモビリ・ピニンファリーナはイタリアのカンピアーノに事業本部、ドイツのミュンヘンに商取引用のオフィスを構え、ラグジュアリー&プレミアムカーブランドで経験を積んだ人材が経営陣として名を連ねています。イタリアにてデザイン、エンジニアリング、手作業での製作を行い、時代の一步先を見つめる顧客に向け、最高のデザイン体験を提供することに尽力しています。アウトモビリ・ピニンファリーナが製作する車にはデザイン哲学「PURA」が息づいています。デザイン哲学「PURA」は、伝統から得たインスピレーションと最先端テクノロジーのシームレスな融合を目指す今後のすべてのプロダクションカーの指針でもあります。

アウトモビリ・ピニンファリーナのバットィスタ(プレスキットはこちら)

バットィスタは、これまでイタリアで設計・製造された車両の中で最もパワフルであり、内燃エンジンを搭載する現代の公道仕様スポーツカーでは達成できないレベルのパフォーマンスを発揮します。0-100km/h加速は現行のF1レースカーを凌駕する2秒未満、最高出力1,900馬力、最大トルク2,340Nmを誇り、ゼロエミッションパッケージで究極のエンジニアリングとテクノロ



ジーを両立しています。各ホイールに1基ずつ計4基の電動モーターがあり、120kWhのバッテリーから電力が供給されます。WLTP複合モードの航続距離は1回の充電で最長476km (US EPA: 300マイル)です。イタリアのカンピアーノにあるピニンファリーナS.p.A.の工房では、150台限定のバッテリーが一台ずつ手作業で製作されています。